

# 平成 26 年度事業報告

## 【概況】

平成 26 年度は、4 月の消費税 8% 引き上げによる反動減や夏場の天候不順により、上半期の経済成長率が前年比でマイナスとなった。しかし政府の経済対策等により穏やかな景気回復基調にある中、雇用・所得環境は底堅く推移した。下半期は、10 月の日銀追加金融緩和や原油価格の大幅下落による経済活性化、並びに 12 月に行われた衆議院選挙の結果改めて政権基盤が安定し、外交政策・経済政策等を通じて日本の国力向上、デフレからの脱却を進めることとなった。

このような情勢の下、本会は 10 数年続いた大幅な会員減少にある程度歯止めがかかって来ており、保険料が基である全法連助成金も増額傾向がはっきりしてきた。事業面では、公益事業推進委員会を中心に部会・支部が「公益」の趣旨を再確認して事業内容の再検討を行った。また、ここ数年探していた新会館建設場所を決定し、土地購入と新会館の建物設計を行った。27 年度はこれに引き続き入札による会館新築工事が行われる予定である。その他、1 年を通して内規の整備を進め、ガバナンスの強化に努めた。

## 1、適正・公平な税制改正の提言

4 月に本部並びに支部役員に対して「税制改正に関するアンケート調査」を実施し、その結果を集約した。その後、税制・税務委員会で来年に向けて本会の「平成 27 年度税制改正提言書」を作成し、5 月に以下のとおり神奈川県法人会連合会に提出した。その後 神奈川県法人会連合会では、県内 18 の法人会から提出された提言書を取り纏め、税制委員・事務局長会議を経て全国法人会総連合に神奈川県の提言要望書は送られた。

なお、下記内容を上部団体に提出して「横浜南の主張」をするだけでなく、全法連が作成した最終的な提言書とともに横浜南の提言原文を併せて「平成 27 年度税制改正に関する提言」書として、地域選出の菅義偉衆議院議員に提出した。

## 平成 27 年度 税制改正に関する提言

公益社団法人横浜南法人会

アベノミクスにより、輸出を中心とした日本の大企業は収益力を回復し、今年に入ってから従業員ベースアップ、非正規の正社員化等 確かに良い景気循環に向けての土台作りは進んでいる。しかし 4 月の消費税増税、来年秋に予定される税率 10% への増税案の影響は、今後景気の足を引っ張る事が予想される。特に若年層にとっては明るい未来を描く事が出来ない状況であり、結婚・出産については引き続き慎重にならざるを得ない。ご存じのとおり社会保障制度に関しては、既に国民から現在の年金制度システム(賦課方式)が破綻していると考えられている。また医療費の沸騰はさらに進み、このままでは現役世代の不信感並びに企業の保険料負担に対する不満が増大し、もはや維持は難しい状況である。新たな制度を早急に考える必要がある。

そして最大の課題は、「歳出の見直し」である。税制改正という言葉にも原因があるが、本要望は基本的に歳入に関するものを検討するばかりで、歳出面では「無駄を減らす」「議員定数の削減」等に集約され「何をどの程度」という具体的な削減には全く触れていない。当然歳出面を検討するデータが乏しいことにも原因がある。また、歳出削減については議員(官僚とも)が触れたくない部分であるが故、私たちは議員活動に目を光らせ、場合によっては選挙公約により特定の政党・候補者の応援等 政治活動も考えていかねばならない。

ところで、各種業界団体が作成している税制改正要望書は、自分たちに有利な税制を主張している部分が見受けられ、その後活発なロビー活動により実現していくものである。法人会もオピニオンリーダーとしてではなく、会員組織である以上「中小企業経営者団体」の立場に好ましい税制改正要望を提言する事も必要である。会員増強活動がなぜ必要なのかというと、要望に必要な「数の力」を得るための手段であり、その最終目的は「会員(中小企業)にとって魅力的な税制へ」改正する事である。全国で 90 万社弱の会員数を誇る巨大団体であるという事は、与野党共にごきげんを伺う存在の全国特定郵便局長会 9 万人の 10 倍の組織力である事を再認識するべきである。

逆にオピニオンリーダーの立場であるのならば、税率を数% 下げるなどというミクロの論戦をするばかりではなく、国民 1 人 1 人の目線で税制を全くのゼロベースで考える等の発想の転換も必要である。

## 【基本事項】

### 1、納得できる税制

「納税は義務」で片づけて、使い道(歳出)については権限がない。この年貢取り立てのような税システムが納税者の理解を得ることができず、結果納税意欲がそがれ については「脱税意欲」に繋がっていく。使い道に関する意見を主張する場、即ち税の使途について国民が選択できるシステムを作るべきである。

### 2、理解しやすい税制

税の種類や国税・地方税の区分けについて理解できている国民は少ない。また税には特例も多く判りにくく複雑化されているために、疎遠で近づきたくない雰囲気がある。税体系はシンプルに。簡素化による歳出節減は大きく、二重の効果が生じる事になる。

例として、税は「消費税中心」として他の税目を廃止していけば、公務員削減も可能となる。また「資産税中心」として、年間所得(フロー)には非課税・元々の資産(ストック)に課税とすれば、労働意欲高揚に繋がる。

### 3、納税メリット

「優良納税者には優遇措置を」。例として、10年連続法人税納入企業の税率を若干下げる、納税企業は赤字企業よりプラスαの行政サービス等の優遇措置があれば、納税意欲も高揚するし景気回復にも一役買うのではないかと。また、納税表彰制度も確立化するべきである。逆に税を納めていない「不正生活保護者」は徹底的に追及すべきで、公平な税負担により優良納税者を増やすべきである。

### 4、歳入に見合う歳出

平成25年度末「国の借金」が遂に1,000兆円を超え、更に増大している。財政健全化に向け、まずは 税収に応じた範囲の歳出を目標にして実行すべきである。その為にも、国・地方議員並びに公務員の定数削減、官僚天下り先の特殊法人・独立行政法人等の整理を断行すべきである。

## 【個別事項】

### 1、消費税の軽減税率

基本事項にも記したが、税制並びに改正事項には「国民の理解・認識」が必要である。本件、特に食品関係については国民もかなり興味を持って経過を観察しており、この条件は満たしていることは注目に値する。しかし、導入については反対である。どこで線を引くのかがはっきりしないこと、更に各業界の陳情増加、族議員の台頭、官僚の利権化等、行財政改革に逆行する事となる。

### 2、組織の強化

税制改正提言等の活動の為には組織基盤の維持・拡大は必須条件であり、新設法人説明会、決算法人説明会や各地域の区民まつり等、範囲を広げて法人会のPRを行ってきた。

会員数の増減状況として、冒頭に記したとおり退会による減少傾向には歯止めがかかって来ている。しかし、共益事業推進委員会・広報委員会・受託保険会社を中心に 近年より尚一層積極的に展開してきた会員増強(加入勧奨)活動については、残念ながら他法人会に比べ結果が伴っていない。

要因として、住民減少地域である事、商業地区・工場跡地に大型マンションが建設され住居が本店登記地となっているが実際の業務は東京である新設法人が多い事等の地域性が挙げられる。また、東京の都心部や横浜中心部と違い会員相互のビジネス上の取引が少なく、日常の交流が希薄である事も一因と考えられ、新規会員獲得には相変わらず厳しさが続いている。結果的に正会員数は、前年比74社の減少となった。

#### ◇会員数の状況

前年度末	正会員数 2,823 社、法人賛助会員 38 社、個人賛助会員 38 人
本年度末	正会員数 2,749 社 (入会 47 社、退会 121 社) 法人賛助会員 41 社、個人賛助会員 38 人 (管内 稼働法人数 14,147 社)

### 3、事業活動の充実化

#### 【公益目的事業】

#### 1、税に関する事業

##### ①税知識普及に寄与する事業

- ・新設法人説明会 隔月(奇数月)で年6回開催 参加者 51名
- ・決算法人説明会 毎月1回(4,6,9,3月は2回)計16回 参加者 442名
- ・各支部改正税法研修会 6月9日～6月26日 6支部で説明会 参加者 101名  
講師:横浜南税務署 米本上席調査官
- ・源泉所得税関係実務研修会 5月22日～12月3日 全6回シリーズ 参加者 137名  
社会保険関係の実務、源泉徴収制度の概要、地方税の特別徴収、退職所得、  
労務管理の実務、給与所得について、年末調整のしかた、報酬・料金、所得税の確定申告  
講師:横浜南税務署 榎本上席調査官、小西上席調査官、浅原上席調査官、  
小野太子社会保険労務士、横浜南年金事務所 佐々木調査課長、  
横浜市財政局法人課税課 鈴木係長
- ・法人税申告書の書き方研修会 2月5日～2月24日まで全5回シリーズ 参加者 14名  
所得金額の計算・申告書と別表のしくみ・役員給与、減価償却・交際費、租税公課等  
講師:横浜南税務署 小尾上席調査官
- ・女性部会カトレアセミナー 10月17日 横浜南税務署幹部による税務説明会 参加者 27名  
第1部 「10歳若返って見える!ゆるストレッチ」～わかさと元気とキレイの秘訣～  
講師:ヨガ療法士 長田 一美氏  
第2部 「お酒と税金」 講師:横浜南税務署 川上副署長
- ・租税教育 11月12日 税のお話と映画鑑賞会 参加者 194名  
第1部 「税のお話」 講師:横浜南税務署 熊澤署長  
第2部 映画鑑賞会「そして父になる」
- ・臨海支部年末調整説明会 11月12日 臨海工業地域を対象に説明会 参加者 130名  
横浜市金沢区産業振興センター  
講師:横浜市南税務署小西上席、大島上席、横浜市財政局 特別徴収センター河村係長
- ・青年部会エキサイティングセミナー 「租税教室でギネス世界記録に挑戦」 参加者 513名
- ・青年部会税務座談会 3月19日 横浜南税務署幹部による税務説明会 参加者 19名
- ・租税教室 1月22日 横浜市立小坪小学校、1月26日 横浜市立汐見台小学校、  
2月17日 横浜市立日下小学校で開催  
講師:横浜南税務署 花田統括官、青年部会役員各位

##### ②納税意識の高揚を目指す事業

- ・ホームページによる税情報の発信 電子ブックで会報を掲載  
税務関係研修会、企業向け各種研修会等、租税教育関係、税制改正提言事項
- ・会報(南法ニュース)による税情報の発信 奇数月 計6回発行 @3,500部発行  
税務署、各区役所、金融機関等において無料配布
- ・税務スケジュール入りカレンダーの作成、配布 会員用2,800部、他一般配布用200部
- ・女性部会 税に関する絵はがきコンクール 7月より9月30日までを募集期間  
近隣の小学生を対象に380作品の応募有
- ・納税表彰式の共同開催 11月14日(金) 金沢産業振興センター  
横浜南税務署、横浜南県税事務所、南・港南・磯子・金沢区役所、  
納税貯蓄組合連合会、青色申告会、間税会、税理士会 他 共催
- ・全国青年の集い秋田大会 11月20日～21日 出席者 12名
- ・全国女性フォーラム香川大会 4月10日 出席者 3名
- ・磯子区大聖院地藏盆へ出店 7月26日(土) 税のパンフレット配布等 広報活動

- ・南まつり「蒔田公園」 7月26日(土) 税金クイズ、税のパンフレット配布、アンケート実施、絵はがきコンクールPR等
- ・磯子まつり「磯子区役所・産業通沿い」 9月28日(日) 同上
- ・金沢まつり「海の公園」 10月18日(土) 同上+税の紙芝居実施
- ・PIA フェスタ「金沢産業振興センター」 10月24日(金)～25日(土) 同上

### ③税制の調査研究と改正事項提言に関する事業

- ・税制・税務委員会 4月 平成27年度税制改正に関するアンケート実施
- ・税理士会幹部との意見交換 10月7日(火) 税制改正提言に関する討論 出席者7名
- ・税制改正提言事項の取り纏め 4月23日(水) 神奈川県法人会連合会(県法連)に提言書を提出  
5月16日(木) 県法連税制委員会にて横浜南の提言事項を説明
- ・提言事項全国大会への参加 10月16日 法人会栃木大会(宇都宮市) 出席者3名
- ・地域選出国會議員への提言書提出 11月4日(火) 菅義偉衆議院議員(内閣官房長官)  
菅義偉事務所を訪問し、税制改正提言書提出 陳情者5名

## 2、地域企業の発展に寄与する事業

- ・地域社会貢献事業 サマーセミナー 8月9日(金) 杉田劇場(磯子区民文化センター) 参加者183名  
「日本人の知らない中国の現実」 講師:ジャーナリスト 富坂 聰 氏
- ・ホームページ上のインターネットでセミナー 「オンデマンドサービス」 受講者2,494名  
一般経営・政治経済・税務・財務・経理・法律・労務・人材育成・ライフスタイル等
- ・パソコンセミナー 2月13日～3月26日 全6回 富士通オープンカレッジ 参加者22名
- ・税務相談 毎月第3・4木曜日、5月のみ毎週 伊藤美穂税理士 利用者43名
- ・労務相談 毎月第1・3水曜日 小野太子社会保険労務士 利用者35名
- ・初級簿記講習会 9月3日(火)～11月7日(木)全10回 参加者10名
- ・健康セミナー 9月27日 「気軽にできる運動のススメ」 参加者17名  
「気軽にできる運動のススメ」 講師:健康運動指導士 山田夕美氏  
10月28日 ウィリング横浜 参加者41名  
「噂のタニタ定食の秘密とは?!」 講師:管理栄養士 鹿沼敦子氏
- ・普通救命講習会 1月29日 (公社)横浜市防火防災協会 参加者19名  
内容:成人に対する心肺蘇生法、AEDの使用法 講師:防火防災協会より3名
- ・寿支部経営研修会 11月25日 法人会会議室 参加者12名  
後継者問題解決の成功事例に学ぶ「中小企業のM&A活用法」  
講師:公認会計士・(株)ストライク代表 荒井邦彦氏
- ・大岡支部経営研修会 4月16日 法人会会議室 参加者16名  
「メンタルヘルスの意味と取り組み方法について」傾聴編 講師:横澤昌典氏  
5月21日 法人会会議室 参加者18名  
「メンタルヘルスの意味と取り組み方法について」対話編 講師:横澤昌典氏  
7月16日 法人会会議室 参加者16名  
「熱中症の怖さと予防対策について(+α)」 講師:熱中症予防指導員 横澤昌典氏  
8月20日 法人会会議室 参加者15名  
「中小企業の取り組み事例で考えるワークライフバランスの効果」女性編  
講師:公益財団法人日本財団 田中志乃氏、キャリアコンサルタント 横澤昌典氏  
9月25日 法人会会議室 参加者12名  
「ワークライフバランスの意味と企業取り組みの意義について」介護編  
講師:介護コンサルタント 横澤昌典氏  
10月15日 法人会会議室 参加者20名  
「ワークライフバランスの意味と企業取り組みの意義について」育児編

- 講師:(株)ソラーレ代表取締役 ファザーリング・ジャパン理事 東 浩司 氏  
 11月19日 法人会会議室 参加者9名  
 「コミュニケーションスタイル」～上級幹部が学ぶ信頼関係の築き方～  
 講師:(株)ヒューマンエイジ研究所 代表取締役 石神康成氏  
 1月21日 法人会会議室 参加者6名  
 「あなたの会社は生き残れますか?」～環境の世紀～事業継続計画(BCP)普及セミナー  
 講師:かながわ環境カウンセラー協議会 環境システム事務所 代表 古川輝夫氏  
 2月19日 法人会会議室 参加者20名  
 ワークバランスセミナー「介護する社員を支える」 講師:介護コンサルタント 横澤昌典氏
- ・港南支部研修会 11月11日(火) ウィリング横浜 講師:三遊亭歌司 参加者25名
  - ・磯子支部経営研修会 3月27日 磯子区民文化センター 参加者21名  
 「後継者への事業継承と相続の問題」 講師:影近税理士
  - ・金沢支部(臨海支部共催) 3月24日 金沢産業振興センター1階ハイロース 参加者71名  
 「新世界紀行 マンガ家世界の田舎に行く」 講師:ヒサ クニヒコ 氏
  - ・青年部会若手経営塾 7月8日 講師:大山会計事務所 参加者23名
  - ・問題解決思考法セミナー 6月3日、3月4日 講師:大谷更正氏 参加者32名
  - ・BCP「事業継続計画」セミナー10月2日(木) 講師:永橋洋典氏 参加者23名

### 3、地域社会に貢献する事業

#### 〈ボランティア活動〉

- ・ヤビツ峠(下草刈) 7月26日(土) 県18法人会共同事業 県全体で333名
- ・寿支部清掃活動 京急南太田駅周辺、地下鉄吉野町駅周辺 全2回
- ・港南支部マスタープラン協力事業 8月3日(日)大岡川クリーンアップ 参加者5名
- ・港南支部 10月25日(土)平戸永谷川クリーンアップ 参加者3名
- ・磯子支部清掃活動 JR磯子駅、新杉田駅、洋光台駅、京急杉田駅 全4回

#### 〈研修事業等〉

- ・地域社会貢献事業 オータムセミナー 12月4日 吉野町市民プラザ  
 「海原純子氏講演会」 講師:医学博士 海原純子氏 参加者70名
- ・磯子支部 健康・税金クイズウォークラリー 3月22日(日) 参加者79名

#### 【収益事業等】

##### 1、収益目的事業

- ・労働保険事務組合 労働保険の事務手続き代行 小野太子 社会保険労務士

##### 2、会員拡大並びに組織増強に関する事業(共益事業の推進)

- ・法律相談 毎月第2火曜日 佐藤 裕 弁護士 利用者4名
- ・通常総会第2部懇親会 5月22日 ローズホテル横浜 参加者158名
- ・新年賀詞交歓会 1月22日 ウィリング横浜 参加者130名
- ・第10回ゴルフ大会 10月16日 上総モナークカントリークラブ 参加者32名
- ・BMカップ小学生サッカー大会 5年生…12月20日、21日 六浦スポーツ広場  
 3年生…12月21日 金沢小、文庫小 各8チーム参加
- ・横浜南ボーイズカップ野球大会 12月20日、21日、23日 10チーム参加  
 旧豊田高校グラウンド、みなみ台公園グラウンド、岡村球場
- ・磯子区音楽祭 12月14日 磯子公会堂
- ・青年部会事業報告会 4月5日 ウィリング横浜 参加者23名
- ・青年部会異業種交流会 全4回 参加者84名
- ・青年部会家族交流会 7月27日 海の公園バーベキュー場 参加者36名

・県法連青年部会連絡協議会	3月7日	箱根湯本 吉池旅館	参加者 14名
・女性部会事業報告会	5月22日	法人会会議室	参加者 29名
・女性部会夕涼み会	8月23日	KKR ポートヒル横浜	参加者 52名
・寿支部会員交流会	9月26日	じゃのめや	参加者 19名
・大岡支部会員交流会	6月4日	KKR ポートヒル横浜	参加者 37名
・港南支部会員交流会	11月11日	花里	参加者 28名
・磯子支部会員交流会	8月21日	セントジェームスクラブ迎賓館	参加者 35名
・金沢支部会員交流会	12月1日	八景島シーパラダイス	参加者 26名

### 3、福利厚生事業の推進

・福利厚生制度説明会	9月18日	松島旅館	参加者 73名
・成人病検診	第1回 9月11日～29日まで全3回	湘南健康管理センター	
	第2回 2月17日～3月14日まで全6回	同上	
・PET-CT がんどック	新百合ヶ丘総合病院 予防医学センター	協力	計5件
・経営者大型保障制度の普及推進		大同生命保険	
・ビジネスガード(業務災害総合保険)の普及推進		AIU 損害保険	
・がん保険・医療保険制度の推進		AFLAC	
・貸倒保障制度の普及推進		三井住友海上保険	
・コナカ割引制度の普及推進			